



プールで救命ボートを浮かべ
要救助者の救助を想定した訓練を実施

町消防団の救命ボート操法訓練が4月25日、徳田小学校プールで行われました。同団第1分団を対象として実施し、約30人が参加。河川氾濫による床上浸水の被害者救助を想定し、ゴムボートの組み立てや水上での操作などを訓練しました。

同団第1部の高橋俊成さんは「複数人に乗って漕ぐため、指揮を執る団員の指示に従いつつ、正確に操作しなければならぬと感じた。平成25年8月に町内で大きな豪雨災害もあったので、そういった場面に対応するためにも今回の訓練はとても勉強になった」と話しました。

災害へ万全の備えを 町消防団が救命ボート操法訓練



救命ボートを組み立てる
消防団員ら



佐々木家曲家で行われた
チャグチャグ馬コの体験

**歴史民俗資料館
無料開放に馬コ登場**

町歴史民俗資料館の無料開放を4月24日、25日に実施。多くの人が来場し、歴史文化に親しみました。

24日は、同資料館敷地内にある町指定有形文化財「佐々木家曲家」で、南部盛岡チャグチャグ馬コ同好会が馬の装束の着付けを上演。乗馬体験も行われ、来場者らが岩手の伝統文化の雰囲気を楽しみました。



谷村さんに手作りの雑巾を
手渡す川原久子委員長

**西徳田2区自治会
地元小学校に雑巾寄贈**

西徳田2区自治会の健康推進委員会（川原久子委員長）主催のお茶っこの会は4月19日、徳田小学校へ手作りの雑巾約150枚を贈りました。同校で、川原委員長が谷村彩音さん（6年）に手渡しました。

谷村さんは「この雑巾できれいに掃除したい」、川原さんは「大切に使用してほしい」と話しました。



町有林の斜面に協力してアオダモの苗木を
植え付ける各スポーツ少年団の選手や家族ら

大きく育ってね！ 町有林でアオダモ植樹式

親子アオダモ植樹式が5月8日、和味の町有林で行われました。初めての企画で、町内の野球スポーツ少年団の白沢ベアーズ、西徳田ブルーウィングス、矢巾アローズの選手とその保護者ら約70人が参加。野球の木製バットの原料となるアオダモの苗木1000本を植えました。

参加者らは山の斜面に穴を掘り、約60センチの苗木を一本ずつ、丁寧に植え付けました。

白沢ベアーズの村井泰雅主将（煙山小学校6年）は植樹を終え「植えるのは大変だったが、良いバットになるよう、立派に育ってほしい」と成長を願いました。

この事業は、多様な世代へ森林の大切さや緑化意識の醸成を図るため実施。令和2年度の町子ども議会で、6小中学校が「SDGsの取り組み宣言」をしたことなどを受けて開催しました。



5月11日に行われた
チームオレンジ結成式

団結して地域の支援へ チームオレンジ結成

町内で認知症の方や家族の支援に取り組む「チームオレンジ矢巾」が5月11日、結成しました。ボランティアなど約60人が、単身高齢者宅への巡回、サロン運営などに取り組みます。

同日の結成式で昆江利子さんが代表して「誰もが住み慣れた町で安心して暮らせるお手伝いをしたい」と決意を述べました。



会場で友人の作品を
鑑賞する来場者

地域の芸術作品が集結 アートフェスタ

田園ホールアートフェスタが4月29日～5月9日、行われました。絵画や木工、写真、手芸などに取り組み16の個人・団体が出展。多種多様な力作が同ホールロビーを彩りました。

このイベントの開催は3年ぶり。会場には多くの人が足を運び、じっくりと鑑賞していました。